

基礎スペイン語Ⅷ

科目ナンバリング SPA-108
必修 1単位

モリス ハイメ

1. 授業の概要(ねらい)

後期の全体的な目標は、会話でのコミュニケーションに重点を置いて、過去の出来事について話せるようになることです。言語習得に必要な4つのスキル(聞く、話す、読む、書く)を即興で行うことで、過去形の使用と言葉によるコミュニケーション能力を強化させます。

後期終了時の目標は、学習した知識を応用して、過去の日常生活、過去の出来事、最近の行動を説明できるようにすることです。

現在と過去の出来事の両方の話題をあげて、スピーチをまとめられるようにします。

2. 授業の到達目標

現在形の文章をベースに、過去の出来事を伝える練習をします。

初めに過去形の活用と使い方を学びます。続く2回の授業で、グループ別に学んだ過去形を使った口頭発表をします。学生はその為の事前準備が必要です。

この学習を通じて、言語習得に必要な4つのスキル(聞く、話す、読む、書く)の強化を目指します。

後期終了時には、過去の出来事について話したり、過去の日常的な状況を説明したり、一般的にスペイン語で伝えたい事を表現できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、期末試験、3回の口頭発表、授業への参加と出席率の評価に基づいて行います。欠席が6回以上になると試験を受けられません。

期末試験 30%

口頭発表 (3x20%) 60%

平常点 10%

4. 教科書・参考文献

教科書

ラテン文化センター横浜 CCLY グループワーク 「La Puerta al Español」

ISBN 978-4-600-00061-5 特定非営利活動法人 YOKOHAMA LANGUAGE STUDIES CENTER (NPO-YLSC)

それぞれのテーマごとのプリント(必須)

5. 準備学修の内容

学生は授業の前にテーマについて読んでおくこと。

6. その他履修上の注意事項

スペイン語の歌を聞いて、リスニング力を伸ばしましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション／前学期のまとめ
- 【第2回】 動詞の形:他動詞と自動詞
- 【第3回】 「Gustar形」動詞・再帰動詞・相互動詞
- 【第4回】 直説法線過去(使い方と活用)
- 【第5回】 過去の習慣に関する発表の準備
- 【第6回】 口頭発表:「子供の頃」(20%)
- 【第7回】 直説法点過去(使い方と活用)
- 【第8回】 直説法点過去の演習
- 【第9回】 過去の出来事に関する発表の準備
- 【第10回】 口頭発表:「最後の休暇」(20%)
- 【第11回】 直説法現在完了(使い方と活用)
- 【第12回】 直説法過去完了(使い方と活用)
- 【第13回】 最近の出来事に関する発表の準備
- 【第14回】 口頭発表:「今日は最低な日だった」(20%)
- 【第15回】 期末試験(30%)